

TGR TEAM ZENT CERUMO

2020 AUTOBACS SUPER GT Report

たかのこのホテル FUJI GT 300km RACE

第2戦 富士スピードウェイ

ZENT GR Supra

#38 立川祐路／石浦宏明

◆8月9日(日) RACE

決勝結果 7位

予選ではライバルとの位置取りでアタックを決めることができず、まさかの Q1 敗退という結果となってしまった ZENT GR Supra。一夜明けた8月9日(日)、TGR TEAM ZENT CERUMO は追い上げを期し、午後1時からの決勝レースを迎えた。前日の公式練習、そして予選を通じ、ZENT GR Supra の速さは磨かれているはずで、それを武器に上位入賞を目指していた。



今回も無観客開催ということもあり、やや寂しさを感じるグランドスタンドを横目に、ZENT GR Supra のスタートドライバーを務めた立川祐路は、フォーメーションラップを終えると ZENT GR Supra に鞭を入れる。ふだんのレースであれば、たとえ予選順位がやや下でも、立川が大きくポジションを上げてきてくれるのがパターン。チームもそれを期待した。



ただ序盤、前をいく#16 NSX-GT に対して立川はなかなか仕掛けるに至らない。後方からは#19 GR Supra も続いており、これに順位を譲ることこそないが、なかなかペースを上げることができない。ZENT GR Supra のペースがライバルに対して不足していたのは明らかだった。

ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
RACING

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

ADVICS

HEISEL

asics

JMS

T-SELECT

トヨタ東大

BBS

SHIMWA
BRAKE FLUID

M
RACING WEAR

TGR TEAM ZENT CERUMO



苦しい走りのまま、いたずらに周回数をこなすことは避けなければならない。現状を打破するために、チームはあらゆる作戦を検討し、最低周回数である22周を終え、立川をピットに呼び戻すことにした。うまく作戦を決めれば、ポジションアップを図ることができるはずだ。

立川はこの指示に従い、22周を終え ZENT GR Supra をピットレーンに戻すと、迅速な作業で石浦宏明に交代。たしかにこれで前を走っていた#23 GT-R など、何台かをかわすことができたが、逆に#19 GR Supra には先行を許し、石浦は後半ステイントを9番手で戦うことになった。

作戦面では成果は出たものの、今回の ZENT GR Supra にはやはりいまひとつ速さが足りない。後方から迫る#3 GT-R や#23 GT-R につけいるスキはみせない石浦だったが、逆に前をいく#19 GR Supra には届かず。その後#19 GR Supra はトラブルのため後退し、最終的に ZENT GR Supra は7位でフィニッシュ。4ポイントを獲得した。

第1戦に次ぐポイント獲得で、ZENT GR Supra のランキングは2戦を終え5位。端から見れば悲観するような順位ではないのだが、今回の ZENT GR Supra は完全に速さの面で表彰台を争うような実力がなかったのは事実だ。TGR TEAM ZENT CERUMO が目指すべきは優勝であり、チャンピオンだ。チームはこの事実を深く受け止め、レース後緊急ミーティングを行った。

勝利を義務づけられていながら、開幕2戦を苦しい結果で終えてしまった TGR TEAM ZENT CERUMO。第3戦となる鈴鹿までは、2週間しかない。チームは急ぎ対策を施し、第3戦からのリベンジを期する。



ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
RACING

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

ADVICS

HEISEL

asics

JMS

T-SELECT

トヨタ東大

BBS

SHIMWA
BRAKE FLUID

MOTUL
RACING WEAR

TGR TEAM ZENT CERUMO

ドライバー／立川祐路

「予選順位も良くなかったので、追い上げようとレースに挑んでいきましたが、思ったよりも苦しい状況で、前にライバルが走っているながら、なかなかポジションを上げることができないレースが続いてしまいました。本来もっと順位を上げて石浦選手に繋ぎたかったですが、それも叶いませんでした。次戦の鈴鹿に向けて、なんとかクルマを改良していきたいと思います」



ドライバー／石浦宏明

「前半スティントの立川選手の戦いをみて、苦しいレースになることは分かりました。エンジニアとも戦略で攻めて、ミニマムで入るトライをしようという話をし、作戦で前に出られるように転換しました。戦略としてはトライは成功したと言えますが、後方から来るライバルに対してはなんとか抜かれない走りをすることができましたが、やはり速さの面で課題が残ってしまい、チーム全体としてどうやっていくのかを見直さなければならぬと思っています。このままではいけないので、しっかり挽回できるようにしたいと思います」



村田淳一監督

「本当に悔しいレースになってしまいました。TGR TEAM ZENT CERUMOとしては、今までにないほど悪い状況になってしまっています。周囲を見ても仕方ありませんが、まわりも速いですし、我々に何が足りないのかをしっかりと探らないと、厳しい状況になっています。次戦の舞台は鈴鹿ですし、コースが変わることで現状を打破していきたいと思っています。またチーム一丸となって最初からやり直し、挑んでいきますので、引き続き応援よろしくお願ひ致します」



TGR TEAM ZENT CERUMO

決勝結果

Rank	Car No.	CarName	Laps	BestLapTime
1	17	KEIHIN NSX-GT	66	1'29.444
2	36	au TOM'S GR Supra	66	1'29.912
3	14	WAKO'S 4CR GR Supra	66	1'30.348
4	37	KeePer TOM'S GR Supra	66	1'30.061
5	100	RAYBRIG NSX-GT	66	1'30.155
6	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	66	1'30.240
7	38	ZENT GR Supra	66	1'30.478
8	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	66	1'30.663
9	23	MOTUL AUTECH GT-R	66	1'30.129
10	16	MOTUL MUGEN NSX GT	66	1'30.270
11	12	CALSONIC IMPUL GT-R	66	1'30.003
12	24	REALIZE CORPORATION ADVAN GT-R	65	1'31.169
13	64	Modulo NSX-GT	65	1'30.962
14	8	ARTA NSX-GT	63	1'29.333
15	19	WedsSport ADVAN GR Supra	46	1'30.615

ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
Racing

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

ADVICS

HEISEL

asics

JMS

T-SELECT

トヨタ東自大

BBS

SHOWA
BRAKE FLUID

MOTUL
RACING WEAR

TGR TEAM ZENT CERUMO

ポイントランキング

Rank	Car No.	CarName	Point
1	36	au TOM'S GR Supra	30
2	37	KeePer TOM'S GR Supra	29
3	14	WAKO'S 4CR GR Supra	22
4	17	KEIHIN NSX-GT	20
5	38	ZENT GR Supra	12
6	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	11
7	100	RAYBRIG NSX-GT	11
8	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	7
9	8	ARTA NSX-GT	4
10	12	CALSONIC IMPUL GT-R	2
11	19	WedsSport ADVAN GR Supra	2
12	23	MOTUL AUTECH GT-R	1
13	24	REALIZE CORPORATION ADVAN GT-R	1
14	16	MOTUL MUGEN NSX GT	0
15	64	Modulo NSX-GT	0

ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
Racing

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

ADVICS

HEISEL

asics

JMS

T-SELECT

トヨタ東自大

BBS

SHIMADA
BRAKE FLUID

MOTUL
MULTIGRADE OIL